



第38回狭山台地区体育祭・取材記事

第38回狭山台地区体育祭は、3年ぶりに10月2日（日）午前9時～12時終了で、狭山元気プラザ・グラウンドにて開催しました▼新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、子供から大人までが楽しめ、誰でも参加できるレクリエーション大会です。内容は各自治会が開催するゲームに、『個人』で好きな種目を3ゲームから5ゲームまで参加可能。『景品交換所』で、スコアカードと引き換えに『景品』を受け取ることができます。

狭山台体育祭実行委員長の開会宣言後、参加者全員で柔軟体操をしてから、9ゲームの中で、好きな競技ゲームに各自が挑戦していました。参加者の人数は394人でした。



参加者全員で柔軟体操

【ゲームの紹介】

- ◎狭山台団地自治会の「球投げ」は少し離れたバケツにボールを投げ入れるゲームで、3回の合計が得点となります。
- ◎狭山台中央自治会の「PK（サッカー）」はゴールに向かってサッカーボールを蹴りこむゲームで、2回の合計で得点となります。
- ◎狭山台団地2街区自治会の「グラウンドゴルフ」は木製クラブでボールを打ちホールポストにボールを入れるゲームです。ゴール1回目は10点、2回目は5点、3回目以上は3点▼各競技共とも、大人や子供年齢でゲーム距離を替えて均一ハンディになるように工夫をしています。
- ◎狭山台第二住宅自治会の「RPS」とは、Rock「石」グー、Paper「紙」パー、Scissors「ハサミ」チョキです。ただのジャンケンではなく、体も頭も運も使って大人も子供も楽しめます。▼参加種目数の制限があり、



第2住宅自治会「RPS」

残念ながら参加の出来なかった5ゲームは、狭山台一丁目自治会の「ペタンク」、狭山台2丁目自治会の「ハネムーン（バトミントン羽根を輪に入れる）」、狭山台四丁目西自治会の「ストラックアウト」、狭山台四丁目東地区自治会の「ピンポン球カップ in」、西武狭山台ハイツ自治会「輪投げ」です▼各自治会が開催する種目とは別に、本部テントでは狭山台地区スポーツ推進委員が参加者に「ロコモ度テスト（椅子に座って片足で起き上がる）」をやっていました ▼『快晴の中、若者から老人までや、小さいお孫さんまでが、実に楽しそうに、語らいながらゲームに挑戦する姿は、健康生活が人生の生き甲斐につながるように感じました』（村上記者）

スマホって何？ 基本講座・開催報告



講師：岡部氏（右） 高野氏（左）

10月20日（木）、21日（金）の二日間に亘り、ソフトバンク株式会社の方を講師に招いてスマホ基本講座が開かれました。18名の受講者は全くの初心者が多く、配布された貸し出し用のスマートフォン（以下スマホ）を手にしては起動の仕方から始まりました。スマホといわれるものは数種類ありますが、ここでは 아이폰での操作体験となりました▼主に行ったのは地図アプリの操作と音声入力、Siri と呼ばれる AI の活用手段でした▼スマホ操作に少し慣れたところで最後にQRコードの読み取り方を勉強し、公民館利用アンケートをスマホで回答を行い、講座を終えました▼『スマホは先ずどんどん触れてとにかく楽しむことが一番で、いろいろな機能を持つアプリは200万以上あり自分の必要な物を選んで取り入れていけます。少しずつ慣れて行くことで果てしない好奇心と未来が広がっていく宝箱だと感じました』

参加者の声

- 難しかったけど楽しかった。スマホに親しめた。
- 便利な仕組みにびっくりした。
- 触ったこともなかったけど指の動かし方から分かりやすく、楽しく教えてもらって良かった。もう2、3回受けたい。

（牧野記者）